

目次

概要	2
議会の構成	3
代表・一般質問	4～9
委員会の活動記録	10・11
審議結果、請願	12・13
令和3年の議会活動	14・15
お知らせ	16

No.234

2022年(令和4年)8月1日

令和4年 第2回定例会

令和4年6月8日～6月17日

みなと 区議会だより

新しい議会構成が決まりました。

新議長のあいさつ

このたび、令和4年第2回港区議会定例会において、議長に選任されました。

歴史と伝統のある港区議会の要職を担うことは、大変光栄であるとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束は見通しが立たない中、ウクライナ情勢は長期化の様相を見せており、原油価格の高騰や穀物等の物価上昇など、区民生活にもさまざまな影響を与えています。

さらに、円安の進行や電力需給のひっ迫が懸念される中、令和4年6月からは外国人観光客の受け入れが再開されるなど、一日も早い社会経済活動の正常化に向け

て、慎重かつ迅速に対応していかなくてはなりません。

港区議会としましては、この激変の時代を乗り越え、区民の幸せな日常を実現するため、一人ひとりの声に耳を傾け、生活に寄り添い、活発な議論と積極的な政策提言を通して、議決機関としての責務を果たしてまいります。

区民の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



港区議会議長
ゆうき くみこ



港区議会
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話03-3578-2920 FAX 03-3578-2932

○ホームページ
<https://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

○フェイスブック
<https://www.facebook.com/minatokugikai/>



表紙をあなたの写真で飾りませんか？

【写真のテーマ】

私が好きな港区の風景

(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。

会議日程

令和4年第2回定例会

6月8日… 議会運営委員会・本会議

会期決定 諸報告

代表・一般質問4名

9日… 本会議・議会運営委員会

代表・一般質問7名

議案等付託

13日… 4常任委員会

議案等の審査

14日… 建設常任委員会

議案等の審査

15日… 総務・保健福祉常任委員会

請願等の審査

16日… 交通・環境等対策特別委員会

請願等の審査

17日… 4常任・5特別委員会

委員長報告・中間報告

議会運営委員会・本会議

議案等の議決

4常任・議会運営委員選任

特別委員の辞任・選任

特別委員会の調査終了・設置

4常任・議会運営・1特別委員会

正副委員長互選

本会議

議長の辞職許可及び選挙



定例会の概要

令和4年第2回定例会は、6月8日から6月17日までの10日間にわたって開会されました。初日の8日と9日は、区長、教育長に対して、計11人の議員から代表・一般質問が行われました。



区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など20件を原案のとおり可決・承認し、皆さんから提出された請願は3件を採択、2件を不採択、15件を継続審査としました。

今定例会の最終日には、任期満了に伴い常任委員会・議会運営委員会委員を選任しました。特別委員会は、委員の辞任に伴う選任、「東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」の調査終了、新たに「東京2020大会レガシー特別委員会」の設置について議決し、その後、4常任委員会、議会運営委員会、1特別委員会の正副委員長互選を行いました。

また、議長の辞職に伴い、新しい議長を選出しました。

東京2020大会レガシー特別委員会を設置しました

東京2020大会の感動や興奮、区内で実施された大会関連事業の軌跡を次世代に継承するとともに、参画と協働によって得られた地域団体等との連携、大会を契機により高まった「する」「みる」「支える」スポーツ活動や文化振興活動、国際交流活動などの取組を東京2020大会のレガシーとして継続し、さらに発展させるため、「東京2020大会レガシー特別委員会」を新たに設置しました。

※なお、「東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」は、東京2020大会が令和3年9月に閉会している現状を踏まえ、調査・研究を終了しました。



議会の構成 ※各委員会は、委員長・副委員長・委員（議席番号順）で表記しています。

議長 ゆうき くみこ

副議長 なかまえ 由紀

監査委員 池田 こうじ

◎委員長

○副委員長

議会運営委員会

- ◎ 鈴木 たかや（自民） やなざわ 亜紀（自民）
- 七戸 じゅん（政策会議） 清 家 あい（政策会議）
- 小倉 りえこ（自民） 熊田 ちづ子（共産）
- 横尾 俊成（政策会議）
- 丸山 たかのり（公明）

会派名及び構成人数

自民 = 自民党議員団 (11人)	街づくり = 街づくりミナト (1人)
政策会議 = みなと政策会議 (10人)	スマイル = スマイル党 (1人)
公明 = 公明党議員団 (5人)	報道 = 虚偽報道に負けない会 (1人)
共産 = 共産党議員団 (3人)	維新 = 日本維新の会 (1人)
都民ファ = 都民ファーストの会 (1人)	

常任委員会

総務

- ◎ 杉本 とよひろ（公明）
- 二島 豊司（自民）
- 黒崎 ゆういち（自民）
- 丸山 たかのり（公明）
- 榎本 茂（維新）
- 阿部 浩子（政策会議）
- 七戸 じゅん（政策会議）
- 清原 和幸（自民）

保健福祉

- ◎ 杉浦 のりお（政策会議）
- 小倉 りえこ（自民）
- なかね 大（公明）
- 琴尾 みさと（都民ファ）
- 山野井 つよし（政策会議）
- 鈴木 たかや（自民）
- 清家 あい（政策会議）
- 池田 こうじ（自民）
- 熊田 ちづ子（共産）

建設

- ◎ 土屋 準（自民）
- 石渡 ゆきこ（政策会議）
- 玉木 まこと（街づくり）
- 榎本 あゆみ（政策会議）
- 風見 利男（共産）
- 近藤 まさ子（公明）
- うかい 雅彦（自民）
- 井筒 宣弘（自民）

区民文教

- ◎ 兵藤 ゆうこ（政策会議）
- 池田 たけし（公明）
- マック 赤坂（スマイル）
- 赤坂 大輔（報道）
- 横尾 俊成（政策会議）
- やなざわ 亜紀（自民）
- 福島 宏子（共産）
- なかまえ 由紀（政策会議）
- ゆうき くみこ（自民）

特別委員会

交通・環境等対策

- ◎ 風見 利男（共産）
- 黒崎 ゆういち（自民）
- 石渡 ゆきこ（政策会議）
- 琴尾 みさと（都民ファ）
- 横尾 俊成（政策会議）
- 池田 たけし（公明）
- 池田 こうじ（自民）
- 七戸 じゅん（政策会議）
- 井筒 宣弘（自民）

行財政等対策

- ◎ 榎本 あゆみ（政策会議）
- 熊田 ちづ子（共産）
- 赤坂 大輔（報道）
- 土屋 準（自民）
- 二島 豊司（自民）
- 阿部 浩子（政策会議）
- 近藤 まさ子（公明）
- 清原 和幸（自民）

まちづくり・子育て・高齢者等対策

- ◎ 丸山 たかのり（公明）
- 清家 あい（政策会議）
- マック 赤坂（スマイル）
- 兵藤 ゆうこ（政策会議）
- 鈴木 たかや（自民）
- 榎本 茂（維新）
- 杉本 とよひろ（公明）
- うかい 雅彦（自民）

エレベーター等安全対策・ 新型コロナウイルス感染症対策

- ◎ 山野井 つよし（政策会議）
- やなざわ 亜紀（自民）
- 玉木 まこと（街づくり）
- なかね 大（公明）
- 小倉 りえこ（自民）
- 福島 宏子（共産）
- 杉浦 のりお（政策会議）
- なかまえ 由紀（政策会議）
- ゆうき くみこ（自民）

東京2020大会レガシー

- ◎ うかい 雅彦（自民）
- 阿部 浩子（政策会議）
- 近藤 まさ子（公明）
- 山野井 つよし（政策会議）
- 兵藤 ゆうこ（政策会議）
- 横尾 俊成（政策会議）
- 丸山 たかのり（公明）
- やなざわ 亜紀（自民）
- 土屋 準（自民）
- 福島 宏子（共産）
- 杉浦 のりお（政策会議）
- ゆうき くみこ（自民）
- 池田 こうじ（自民）

代表・一般質問

6月8・9日

※代表・一般質問は要約して掲載しています。詳しくは、右の二次元コードを読み取り「動画配信」をご覧ください。



自民党議員団

財政運営について

- Q. 現下の社会状況を見据えた財政運営について
- A. 基金の活用や国の財源等も効果的に活用しながら、適宜補正予算を編成する。年度途中に生じた新たな課題に対して迅速に対応する。

ウクライナ支援について

- Q. 避難民への支援に係る考え方について
- A. 大使館をはじめ多様なネットワークを構築し、避難民へのカウンセリング、一時滞在施設の提供、民間の取組情報を共有し、支援に繋がっている。



港区適正事務推進事業について

- Q. 目的について
- A. コンサルタントが有するヒューマンエラー対策に関する専門的な知見を取り入れ、新たな視点から原因分析や既存の確認手順の見直しを行うもの。実効性の高い再発防止策を実行する。
- Q. レジリエンス^{*1}について
- A. 職員を対象にワークショップを新たに実施し、不適正事務を防ぎ、発生時には迅速かつ的確な対応ができるよう、職員のスキル取得に取り組む。

電力不足について

- Q. 考え方と区の実施について
- A. MINATO節電アクションに取り組んでおり、区内関係団体8か所に協力を依頼し、約8千の事業所へ周知された。

新型コロナウイルス感染症対策について

- Q. 今後の方針について
- A. 感染防止対策に万全を期した上で積極的に事業を展開するとともに、情報発信に努める。

みなとSDGs経営相談窓口について

- Q. 期待する効果と取組の充実について
- A. 環境配慮等の手法のほか、消費者や取引先への効果的なPR方法等について助言を行い、受注の促進や持続的な発展に繋がることを期待している。

介護について

- Q. 人材の確保、育成及び定着に向けた区の支援について
- A. 本年3月にアンケートを実施したところ、実効性ある支援の充実が求められていることがわかった。更なる分析を行い、一層効果的な支援策を早急に検討し実行する。

不妊に悩む方への支援について

- Q. 心理的サポートについて
- A. 区は5月に「港区不妊・不育相談ダイヤル」を開設した。女性だけではなく、不妊に悩む男性の相談にも応じ、区内在勤者も相談対象としている。

ヤングケアラーについて

- Q. 実態調査の目的と調査結果の活用について

- A. 教育委員会や関係機関と連携し、区民への啓発、関係者への研修等、地域全体で支援する取組を推進する。

自殺対策について

- Q. 連鎖を防ぐ取組について
- A. 報道の影響で自殺者が増えることが指摘されている。状況に応じて臨機応変に対応し、適切な支援が行えるよう取り組む。

保育政策について

- Q. 時代の変化に対応した政策の推進について
- A. 本年1月に実施した調査によって浮き彫りになった子育て家庭のニーズや課題に対し、認可外保育施設の保育の質の向上や、区の一時預かり事業の充実を図っていく。
- Q. 乳幼児の一時預かり事業の拡大について
- A. 保育定員に対する空きを活用した余裕活用型一時保育事業を小規模保育事業所で開始した。ニーズの増加に対応するため、私立認可保育園での実施に向け意向調査や検討を行う。



- Q. 在宅子育て家庭への支援強化について
- A. 調査の結果、在宅子育て家庭には0～2歳児が多いこと、約3割が祖父母等の支援を得られていないことがわかった。支援の充実を図っていく。

電子商品券について

- Q. データの有効活用について
- A. 使用期間終了後に地区、業種、年代別の使用状況等の情報を商店会や店舗に提供することで、販売促進事業や新たな顧客獲得等への活用が期待できる。
- Q. デジタル地域通貨への展開について

- A. 専用アプリの開発が必要となる。導入費が高く、費用対効果の検証が必要。

外国人観光客受入れ再開に伴う対応について

- Q. インバウンド再開への期待について
A. ナイトタイムエコノミーは民間の力を活用した補助制度へ転換することにより、これまで以上にバリエーション豊かな事業を提供していく。



- Q. 新型コロナウイルス感染症対策について
A. 外国人観光客の受け入れによって区内滞在中の陽性者が増加した場合、ホテル等に滞在できず、更なる感染拡大に繋がる恐れがある。国の責任において観光客専用の療養施設を確保するなどの対策を、国に要望していく。

特定緊急輸送道路沿道建築物について

- Q. 耐震化の推進について
A. 平成25年度から令和3年度まで、耐震化率が86.4%から93.4%に上昇。引き続き、指導や指示により一層耐震化を推進していく。

自転車について

- Q. 安全な通行空間について
A. 今年度、港区自転車利用環境整備方針を改定する。「子育て送迎ルート」の路面表示や、自転車ネットワークの早期実現を目指し、未整備路線の整備計画の見直しを行う。



電動キックボードについて

- Q. 安全な利用に向けた区の取組について

- A. 電動キックボード利用者が自ら交通ルールを守れるよう、利用にあたってのルールの普及啓発をしてきた。今後も警視庁や関係機関と連携し、普及啓発に努める。

ハトへの給餌について

- Q. 生活環境の悪化について
A. 条例がある他自治体へヒアリングを行ったところ、給餌行為が止まった事例が確認され、一定の効果が上がっていると聞いている。区においても条例の改正を視野に入れ、効果的な対策の検討を進める。



区政のDXについて

- Q. 推進に向けた取組について
A. 本年4月、取組を加速するため、デジタル推進担当を設置した。区民の利便性を高める新たなデジタル技術の検討と、抜本的な見直しに取り組む。

区による法律相談体制について

- Q. 充実について
A. より多くの方が相談を受けられるよう、相談時間の延長、英語通訳者の配置、公的資格を持つ手話通訳士の配置の準備を進めている。

タブレット端末について

- Q. 子どもの健康面への配慮事項について
A. 端末使用時の姿勢をアプリケーションを用いて分析し、正しい姿勢について学ぶ活動を試行実施する等、児童・生徒が主体的に健康管理を行える取組を一層充実させる。

給付型奨学金制度について

- Q. 現状と込めた思いについて
A. この2年で、給付奨学生数は50人に留まっている。良かったことや改善すべき点等を聞き取り、制度の充実に努める。

部活動の地域移行について

- Q. スポーカルとの連携について
A. 区に相応しい部活動の地域移行を検討する目的で、スポーカル運営者や参加者の意見も聞きながら、連携方法等を検討していく。
Q. 合同部活動化について
A. 指導者及び練習場所の確保等、合同部活動を含めた部活動のより良い運営方法を検討する。



公立・私立を選択できる施策について

- Q. 幅広く選択できる施策の展開について
A. 私立学校と連携・交流を深め、公立・私立がひとしく学べる教育環境の実現に繋げる。

みなと政策会議

若者に区的意思決定に参加してもらうことについて

- Q. 未来を生きる子どもや若者の声を反映したまちづくりを行うべく、彼らからの提案を受けただけではなく、判断の場にも入れるべき。そのための専門官の設置
A. 未来を担う世代の声を反映した区政運営を推進する。

地域貢献をする若者を支援する住宅施策について

- Q. 地域活動の担い手を増やすべく、若者が地域活動や高齢者の見守り活動等に参加する代わりに低廉な家賃で区内に住むことのできる制度をつくるべき
A. 若者の定住促進に向けた施策を検討する。

脱炭素先行地域への登録について

- Q. 脱炭素先行地域への登録に向けては、区内のさまざまな事業所や公共施設との連携、さらに他自治体との協働も必要である。港区環境基本計画の改定時期は令和5年度となるが、排出量の削減を一層加速させるとともに、登録に向け連携・協働を図るべき
- A. 事業者や他自治体との広域的な連携による区外への発電設備の設置等の検討を進める。

コンポストボックスを設置することについて

- Q. 生ごみを減らし、カーボンニュートラルを促進するために、区立の小・中学校の給食で出た残飯を、コンポストで処理する取組を行うとともに、家庭からも収集し、小・中学校をコンポスト回収の拠点とするべき
- A. 区民による生ごみの堆肥化の取組を積極的に支援する。



NFT*2 コインを発行し、地域活動の促進とコミュニティ形成を図ることについて

- Q. WEB3.0*3の時代に地域の価値をより高めるべく、従来の地域通貨の仕組みをアップデートする形で「港区コイン」を発行し、区内の地域活動を促進していくべき
- A. 他の自治体の取組事例を情報収集し、調査研究する。

放課後の時間の多様化・充実化について

- Q. 「放課GO→クラブ」や子ども中高生プラザ、児童館等は、子どもたちの放課後の居場所として重要な役割を果たしているが、多くの時間は自由に過ごすだけとなってい

る。事業者やNPOに協力してもらい、学校では学べないことを学べ、個性を伸ばす場所として機能させるべき

- A. 放課後の充実に努める。

ファンドを活用した中小企業支援策の導入について

- Q. 区として、広く中小企業やスタートアップを支援するファンドのほか、区が抱える諸課題や気候変動等に対する環境分野の企業への投資に絞ったファンド等をつくるべき
- A. 必要性を見極める。

ペットと過ごせる場所を表示するマークの普及について

- Q. ペットと共存できる街にするため、快適にペットと過ごせる場所に掲示する「ペットOKマーク」を普及させるとともに、それを紹介するサイトや冊子等を作成するべき
- A. マークの普及についても検討する。



アクティブシニアの力を街に生かすための取組について

- Q. 民間事業者やNPOなどとも協力し、利用者のニーズに合わせて魅力ある地域活動や仕事を提供すべき。また、社会活動を実践している経験者によるセミナーを開催したり、インターン制度を設けたりするべき
- A. 高齢者の経験や能力を地域活動に生かすための取組を進める。

子どもたちの才能や好きを伸ばすための教育について

- Q. さまざまな企業や団体と協力し、学校以外での居場所を積極的につくった上で、必ずしも学校に来なくても多様な学びが得られ、自らの才能や好きを伸ばすことができる環境を整えるべき
- A. 環境整備に努める。

区民を守り、区民を支える行政について

- Q. 新橋地域の違法客引き対策を、警察と連携強化し、推進すべき
- A. 生活安全パトロール隊による指導を強化し、愛宕警察署と客引き対策につき意見交換を行い、合同パトロール実施の準備を進める。
- Q. 札の辻スクエアを活用したファッション産業支援を継続的に取り組むことについて
- A. 最新のデジタル機器を活用する場の提供とセミナー開催などを通じ、ファッションに関わる人材を札の辻スクエアに引き寄せ、育成、支援することで、ファッション産業の活性化を継続して支援する。



区民とともに前に進む行政について

- Q. 民間の地域活動を支援する行政サポートについて
- A. 地縁団体や企業なども含めた団体間の交流を促進するWEBサイトを9月に開設する準備をしている。また、より効果的に地域の課題解決を図るための中間支援機能の仕組みを構築していく。
- Q. 現行の災害法制度は、在宅被災者には行政支援が極端に少ない。その隙間を埋める新たな仕組みである災害ケースマネジメントを、港区でも導入すべき
- A. 災害発生後に、被災者の生活再建に向けた課題解決のため、関係者が連携して支援する災害ケースマネジメントについては、区も仕組み構築の必要性を認識している。今後は、地域の弁護士会や建築士会等、様々な地域の関係機関と情報共有を進め、各地の事例収集を

し、区の地域特性を踏まえた災害ケースマネジメントの調査研究をしていく。

Q.リーブラの役割に対する区の監督について

A.利用者の声を受け止めながら、男女平等参画の拠点施設であるリーブラの安定運営に向け、指定管理者への適切な指導・助言を行っていく。

若者が直面する危機を若者任せにせず地域で守る必要性について

Q.消費者被害防止について

A.学校と連携し、消費者教育の充実を図るとともに、消費者センターでの生活相談や、消費者ホットライン188の周知を図っていく。

行政の各種ミス防止について

Q.過去の不適正事務事例の改善策ではダブルチェックやチェック強化が繰り返し言われているが、ダブルチェックはエラー発見には有効だが、エラーそのものの減少には繋がらない。より実効的な再発防止策が必要ではないか

A.港区適正事務推進事業において、コンサルタントを活用し、民間の再発防止策を参考にしながら、ダブルチェックなどの既存の確認手段の有効性を検証し、より実効性ある再発防止策を策定する。

区内の歴史的建造物を、観光などで活用することについて

Q.区内の歴史的建造物を観光や地域振興に活用してはどうか

A.冊子で紹介したり観光ボランティアのガイドを通じて観光資源として活用しているが、SNSなどを活用し、更なる魅力の発信・周知を図り、地域の活性化につなげていく。



ゆかしの杜として活用されている実例

キープ・ママ・スマイリングについて

Q.母親がいつも笑っている社会を目指して、発達特性のある子の子育てのサポート体制はどうであるのか

A.不安や悩みを抱える保護者には、児童発達支援センターを紹介。センターでは、心理士や理学療法士等の専門職が相談対応し、また同様の経験をした先輩保護者との勉強会開催にも取り組んでいる。



発達障がいの子と生きる家族の物語

公明党議員団

地方創生臨時交付金の活用について

Q.物価高から生活者や事業者を守るため地方創生臨時交付金を積極的に活用すべき

A.幅広く活用していく。

高校生医療費助成への取組について

Q.高校生医療費助成導入に向けた区の取組は

A.特別区長会を通じ東京都と協議を進める。

食品ロス削減の促進について

Q.食糧高騰の今こそ、食品ロス削減を強力に進めるべき

A.インセンティブの検討と効果的な普及啓発を推進する。



ウクライナ避難民への支援について

Q.受入れ町会・自治会・団体等への支援体制も必要では

A.地域コミュニティ活動をコーディネートすることで、地域での暮らしを支えていく。

Q.長期化に備えたウクライナ避難民支援の取組は

A.安心して過ごせるよう生活状況の変化に合わせてきめ細かな支援に取り組んでいく。



Q.子どもたちの教育機会の確保に取り組むべき

A.安心して学べる態勢を整え不安解消に努める。

外国人への差別解消の推進について

Q.外国人へのヘイトスピーチなど差別を解消する対策を

A.社会動向を的確に捉え、あらゆる機会を通じ取り組む。

視覚障がい者への防災対策について

Q.視覚障がい者にも伝わる水害ハザードマップの作成を

A.音声やデジタルを活用し情報提供方法を検討していく。

視覚障がい者の情報取得について

Q.音声コードによる区からの情報伝達の今後の取組は

A.広く音声コードを活用し発信する取組を全庁的に徹底する。

井戸・湧水・雨水の防災活用に

Q.井戸・湧水の防災利活用マンホールトイレに雨水活用を

A.災害井戸や貯留槽設置を開発業者へ働きかけを通じ推進していく。

エレベーター閉じ込め救出訓練について

- Q.エレベーター閉じ込め救出訓練を促す仕組みづくりを
- A.管理組合等が実施する救出訓練については、丁寧に相談に応じ、製造メーカーへ協力を求める。

心に響くがん検診の勧奨について

- Q.コロナ禍での変化を踏まえ、受診率向上への更なる勧奨を
- A.メッセージ性の高い通知や効果的な受診勧奨に取り組む。

おくやみコーナーの設置について

- Q.遺族の負担軽減のため「おくやみコーナー」設置と「ご遺族の方へ」冊子の充実を
- A.コーナー設置を検討する。冊子には区役所以外の主な窓口や相続等に関する幅広い情報を掲載する。

電動キックボードの事故補償について

- Q.利用者へ説得力のある保険加入の周知を
- A.賠償額の具体例など、保険加入の必要性がより効果的に伝わるよう周知に努める。

保育園の空き対策について

- Q.定員見直しや一時預かり拡充等、積極的な空き対策を
- A.空きを最小限に抑える取組をあらゆる角度で検討する。

グリーンケア*4 について

- Q.厚生労働省作成の、グリーンケアに関する手引の活用を
- A.手引活用の研修会による相談技術の向上などに取り組む。

インボイス制度導入への支援について

- Q.中小企業の相談支援体制を拡充し、普及にあたるべき
- A.無料相談窓口など事業者に応じ、きめ細かく支援する。

学校での脱マスクの取組について

- Q.マスク不要な場面での脱マスクを教員等へ徹底すべき

- A.着用が不要な場面では積極的にマスクを外すよう促す。



学校での虐待の早期発見の取組について

- Q.学校健康診断での早期発見で子どもたちを守る取組を
- A.職員間の情報共有、児童相談所や子ども家庭支援センターとの連携を図る。

ペアレントメンター*5 の取組について

- Q.ペアレントメンターを有効的に活用すべき
- A.東京都のペアレントメンター派遣事業の積極的な活用と効果的な活用策を検討する。

共産党議員団

神宮外苑の緑と環境・景観を守ることに

- Q.東京都環境影響評価審議会は「データ提供が足りない」と異例の結論を持ち越し。都知事も、「都民参画に取り組むこと」などを要請。計画の見直しを要請すること
- A.可能な限り樹木の保存・移植を指導する。



ラグビー場に続く区道に立つ伐採される予定の18本のイチヨウの樹

羽田新飛行ルートについて

- Q.3月に渋谷区のテニスコートに氷塊が落下。国は「調査は必要ない」と発表。車輪を出すタイミングは表参道交差点付近と思われる。保育室や小学校の真上。国に

- 調査を求め、原因解明まで海上ルートの活用を要請すること

- A.国は調査は困難との見解。安全対策の徹底と固定化回避に向けた検討を求める。

防災対策について

- Q.東京都防災会議地震部会は首都直下地震などの被害想定を見直した。エレベーター閉じ込め事故は2倍に増加。閉じ込めキットの設置対象に管理組合も含めること
- A.防災住民組織等が設置の条件。



エレベーターに設置されている防災キャビネット

保育園給食費の保護者負担をやめることについて

- Q.給食費は月額5,000円徴収。都内23区中19区は公費負担。給食は保育の一環と認め保護者負担をやめること
- A.保護者が負担すべき経費として、実費徴収する。

インボイス制度(適格請求書保存方式)の中止について

- Q.中小企業、フリーター、個人タクシー等を守るためにも国に中止を求めること
- A.専門家と連携して、十分な周知を図る。経営状況を丁寧に聞き、区として中小企業の支援策を用意する。

区民健診に聴力検査の導入を

- Q.補聴器購入費助成制度が実現。難聴の早期発見のために区民健診に聴力検査を導入すること
- A.高齢者の聴力検査は、法的な位置づけがなく対応可能な医療機関は限られる。課題の解決に向け検討する。

*4：グリーンケア⇒身近な人を亡くし、悲しみの中にある人をサポートすること

*5：ペアレントメンター⇒自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親のこと

大平台みなと荘の改善を

Q.「ベッドの部屋を増やして」、「ベッドに手すりをつけて」、「露天風呂の手すりを増やして」、「障害者用のお風呂は使いづらい」など、区民の意見を改修計画に生かすべき

A.バリアフリーの観点を踏まえた改修工事を行う。

都民ファーストの会

保育園における教育需要への対応について

Q.今後どのような対応を進めていくのか

A.保育園が独自に上乘せ徴収を伴う英語教室などを実施することについては、今後の検討課題とする。



事業計画時における目標の設定について

Q.事業を計画する際に、数値目標設定を行っているのか

A.区民生活の現状や課題を分析し、費用対効果や妥当性、将来コスト等を踏まえて事業立案を行っている。

街づくりミナト

湧水の保全について

Q.民有地の湧水の保全に対する区の支援は

A.湧水の保全は、緑地の確保や雨水浸透施設の整備など、広範囲で雨水を地中に浸透させる取組が重要なため、雨水の浸透量確保に努める。

高輪築堤について

Q.高輪築堤を生かしたまちづくりの検討を推進すべき

A.一部現地保存と移築保存だけでなく、築堤石の活用なども検討されており、高輪築堤の継承と地域の魅力向上になるよう事業者を指導する。

麻布運動場野球場について

Q.野球場の人工芝化を契機として、スポーツを観る環境の整備について

A.工事に合わせ防塵ネットを取り外す予定であり、周辺の道路整備に合わせ、区長部局とも調整しながら、スポーツを観る環境の整備に努める。



麻布運動場野球場の観戦場所の現状

日本維新の会

運河への汚水放流の水質調査について

Q.東京都下水道局は毎月、港区の運河に東京ドーム1個分以上の未浄化汚水を放流している。雨天時の水質調査において、東京都が発表する数字と区が調査した数字を比べると、東京都が検出した大腸菌が1ml中1以下であるのに対し、区の調査では100ml中100万という単位の数値が並び、まさに桁違いの違いがある。今後は区民に映像を交えるなど情報公開のレベルアップを図って欲しい

A.視覚的なわかりやすさ、調査方法の拡充について検討していく。



区議会はどなたでも傍聴できます

区議会の会議は原則公開されており、本会議や委員会は傍聴できます。本会議場の傍聴席にはモニターを設置し、区長の所信表明と議員の代表・一般質問時には手話通訳及び字幕もご覧いただけます。

なお、傍聴の際は一席空けてお掛けいただくなど、新型コロナウイルス感染症対策に努めてご案内いたします。

会議の開会予定については、区議会ホームページやポスター等でご案内いたします。

【問い合わせ】

区議会事務局議事係
電話 03-3578-2915

【各会派の連絡先】

不在の場合は、区議会事務局へ
電話 03-3578-2911

自民党議員団

電話 03-3578-2927
F A X 03-3578-2909

みなと政策会議

電話 03-3578-2938
F A X 03-3578-2949

公明党議員団

電話 03-3578-2935
F A X 03-3578-2937

共産党議員団

電話 03-3578-2945
F A X 03-3578-2947

都民ファーストの会

電話 03-3578-2922
F A X 03-3578-2936

街づくりミナト

電話 03-3578-2948
F A X 03-3578-2854

スマイル党

電話 03-3578-2914

虚偽報道に負けない会

電話 03-3578-2961
F A X 03-3578-2936

日本維新の会

電話 03-3578-3233
F A X 03-3578-2936

常任委員会の活動記録



※議案は概要のみ掲載しています。詳しくは、左の二次元コードを読み取り「議案」をご覧ください。

- 議案名、概要
- 主な質疑

総務

● 区長報告第8号 令和3年度港区一般会計予算繰越明許費繰越計算書
令和3年第3回定例会及び第4回定例会、令和3年第1回臨時会並びに令和4年第1回定例会で繰越明許費として設定した事業に係る経費を翌年度へ繰り越し

● 区長報告第9号 令和3年度港区一般会計予算事故繰越し繰越計算書
避けがたい事故のため年度内に支出が終わらず事故繰越した経費を翌年度へ繰り越し

- 行政情報システム標準化への影響
- 世界的な半導体不足に対する区の認識

● 議案第53号 令和4年度港区一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ34億4,861万8千円を追加し、総額をそれぞれ1,627億4,861万8千円とする

- エンジョイ・セレクト事業の対象世帯数及び昨年度からの変更点
- 鉄道開業150年を契機とした事業の内容や鉄道事業者等との連携

● 議案第54号 工事請負契約の承認について
(仮称)一の橋公園自転車駐車場整備工事の工事請負契約の承認を求める

- 利用可能な自転車の大きさ
- これまでの自転車駐車場でのトラブル

● 議案第55号 工事請負契約の承認について
港区立麻布運動場整備工事(人工芝化)の工事請負契約の承認を求める

- 都心の環境に適した人工芝の選定
- 人工芝が排水溝から流出しない仕様を盛り込むこと

● 議案第56号 工事請負契約の承認について
港区立麻布いきいきプラザ等新築工事の工事請負契約の承認を求める

- 麻布作業連絡所の歴史と経緯
- 施設の防災機能

● 議案第57号 工事請負契約の変更について
「港区特定公共賃貸住宅シティハイツ高浜等新築工事請負契約」について、契約金額36億4,430万円を49億9,660万7千円に、工期「令和5年12月11日まで」を「令和7年10月31日まで」に変更する

- 契約金額増額の予見
- 撤退も含めた検討

● 議案第58号 物品の購入について
港区立神応保育園の開設に伴うちゅう房の整備のため、ちゅう房機器71点を購入する

● 議案第59号 物品の購入について
港区立赤羽小学校の移転に伴うちゅう房の整備のため、ちゅう房機器145点を購入する

● 議案第60号 物品の購入について
区立小学校における業務効率化のため、インクジェットプリンター4台を購入する

- コピー料金や保守経費を含めた費用削減効果

● 議案第61号 物品の購入について
区立幼稚園、区立小学校、区立中学校等における情報システム端末機器の更新のため、パーソナルコンピューター545台を購入する

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇ 港区人口推計(令和4年3月)
- ◇ 指定管理者制度の運用見直し



保健福祉

● 議案第46号 港区保健衛生事務手数料条例の一部を改正する条例
「東京都ふぐの取扱い規制条例」の一部改正により、ふぐ加工製品取扱届出制度が廃止されたことに伴い、手数料の規定を整備する

- 東京都による市場調査の詳細
- 加工製品の仕入れルートの追跡

● 議案第49号 港区立障害者住宅条例の一部を改正する条例
「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則」の一部改正を踏まえ、同居することができる者の範囲を拡大する

- 当事者への周知の在り方

● 議案第50号 港区墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例
「宗教法人法」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の一部改正に伴い、規定を整備する

- 区内の墓地及び納骨堂の件数
- ペット墓地の扱い

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇ 港区立神応保育園指定管理者の公募
- ◇ 福祉総合窓口の設置



建設

●議案第45号 港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例

- 「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」及び「建築基準法」の一部改正に伴い、手数料の規定を整備する
- 応急仮設建築物等の許可を延長する回数制限
 - 長期優良住宅の認定実績

●議案第47号 港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

- 都市計画が変更された愛宕地区地区計画及び神宮外苑地区地区計画の区域内における建築物の制限を定める
- イチヨウの生育に関する問題の把握
 - 再開発後のイチヨウ並木と明治神宮野球場壁面の距離

●議案第48号 港区特定公共賃貸住宅条例等の一部を改正する条例

- 「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則」の一部改正を踏まえ、同居することができる者の範囲を拡大するほか、規定を整備する
- 現在の入居者が里子を迎える場合の制度の適用
 - 入居者募集における周知方法の工夫



閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇六本木七丁目地区電線共同溝整備事業に係る工事等委託（Ⅲ期）
- ◇六本木・虎ノ門地区まちづくりガイドライン（素案）

区民文教

●議案第44号 港区特別区税条例等の一部を改正する条例

- 「地方税法」の一部改正等に伴い、区民税に係る上場株式等の配当所得等の課税方式について、所得税法で定める所得税の課税方式に合わせるとともに、住宅借入金等特別税額控除の適用期限を4年延長するほか、規定を整備する
- 区民税に係る上場株式等の配当所得における課税方式の統一に伴う税負担
 - 扶養親族申告書等に記載する対象者

●議案第51号 港区立学校設置条例の一部を改正する条例

- 赤羽小学校新築工事の終了に伴い、赤羽小学校を新校舎へ移転するほか、赤羽幼稚園を新校舎内へ仮移転するため、位置を変更する
- 地域住民、各関係者を対象とした内覧会の実施
 - 手洗い場等における自動水栓の設置

●議案第52号 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 東京都の「学校職員の特殊勤務手当に関する条例」の一部改正を踏まえ、幼稚園教育職員の教員特殊業務手当の上限額を改定する
- 教員特殊業務手当における上限額の基準の考え方
 - 教員特殊業務手当の支給対象となる災害



閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇窓口総合支援システムの運用開始
- ◇台場コミュニティぷらざ等大規模改修工事に係るスケジュール等の変更

特別委員会の活動記録

閉会中の主な報告事項

●交通・環境等対策

- ◇グリーンスローモビリティの実証実験の結果
- ◇（仮称）港区港南三丁目プロジェクト環境影響調査書案

●行財政等対策

- ◇港区版ふるさと納税制度（令和3年度の実績及び令和4年度取組）
- ◇令和4年度都区財政調整協議結果等

●エレベーター等安全対策・新型コロナウイルス感染症対策

- ◇区内感染者数の推移及びみなと保健所による主な取組状況
- ◇新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況



議案等の審議結果

令和4年第2回定例会 案件名		各会派の態度									議決結果	
		議自 員民 団党	政 策 会 議	み な と	議 公 員 明 団党	議 共 員 産 団党	ス ト の 会	都 民 フ ァ ー ミ ナ ト リ	街 づ く り	ス マ イ ル 党		虚 偽 報 道 に 負 け な い 会
区長報告 第8号	令和3年度港区一般会計予算繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認
区長報告 第9号	令和3年度港区一般会計予算事故繰越し繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	承認
議案 第44号	港区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第45号	港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第46号	港区保健衛生事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第47号	港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第48号	港区特定公共賃貸住宅条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第49号	港区立障害者住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第50号	港区墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第51号	港区立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第52号	港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第53号	令和4年度港区一般会計補正予算(第1号) ●歳入歳出それぞれ34億4,861万8千円を追加し、総額をそれぞれ1,627億4,861万8千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	原案可決
議案 第54号	工事請負契約の承認について((仮称)一の橋公園自転車駐車場整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第55号	工事請負契約の承認について(港区立麻布運動場整備工事(人工芝化))	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第56号	工事請負契約の承認について(港区立麻布いきいきプラザ等新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第57号	工事請負契約の変更について(港区特定公共賃貸住宅シティハイツ高浜等新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	原案可決
議案 第58号	物品の購入について(港区立神応保育園ちゅう房機器)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第59号	物品の購入について(港区立赤羽小学校ちゅう房機器)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第60号	物品の購入について(インクジェットプリンター)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
議案 第61号	物品の購入について(パーソナルコンピューター)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	原案可決
請願4 第3号	政党助成法の廃止を求める意見書提出に関する請願	×	×	×	○	×	×	—	×	×	×	不採択
請願4 第4号	総合法律支援法の改正を求める意見書提出に関する請願	×	×	×	○	×	×	—	×	×	×	不採択
請願4 第5号	障害児の親の就労支援のための港区担当部署の設置に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	採択
請願4 第6号	高校生の障害児の保護者の就労支援に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	採択
請願4 第7号	国交省発行「港区の皆さまへ 羽田空港のこれから2022年冬号」並びに港区が実施した意見募集に寄せられた意見に関して住民説明会の開催を国に求める請願	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	採択
発案元 第11号	東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた諸対策について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	調査終了

※スマイル党のマック赤坂議員は、6月17日開会の本会議を欠席したため、同日に採決した議案等について表決ができませんでした。

皆さんから提出された請願

採択とした請願

- ▼障害児の親の就労支援のための港区担当部署の設置に関する請願（令和4年6月9日受理）
- ▼高校生の障害児の保護者の就労支援に関する請願（令和4年6月9日受理）
- ▼国交省発行「港区の皆さまへ 羽田空港のこれから 2022年冬号」並びに港区が実施した意見募集に寄せられた意見に関して住民説明会の開催を国に求める請願（令和4年6月9日受理）

不採択とした請願

- ▼政党助成法の廃止を求める意見書提出に関する請願（令和4年6月9日受理）
- ▼総合法律支援法の改正を求める意見書提出に関する請願（令和4年6月9日受理）

継続審査とした請願

- ▼港区における特定遊興飲食店営業の指定地域追加願いに関する請願（令和元年6月20日受理）
- ▼羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート計画の撤回を含む再検討を国に求める請願（令和元年6月20日受理）
- ▼羽田空港新飛行経路の港区上空飛行に備えた港区航空事故災害対策計画の策定を求める請願（令和元年9月13日受理）
- ▼東京都市計画道路幹線街路環状第4号線にかかる港区立白金児童遊園敷地と港区立白金台幼稚園の敷地を東京都に譲渡しないで頂きたい事を求める請願（令和元年11月28日受理）
- ▼羽田新飛行経路の運用延期または再検討を求める請願（令和2年2月21日受理）
- ▼羽田空港新飛行ルートの見直しを国に求める請願（令和2年6月26日受理）
- ▼2030年CO2削減目標引き上げに関する請願（令和3年2月19日受理）
- ▼区有施設への再生可能エネルギー電気導入を求める請願（令和3年3月16日受理）
- ▼全国知事会が求める「米軍基地負担に関する提言」についての請願（令和3年6月10日受理）
- ▼騒音防止及び安全確保に関する請願（令和3年6月10日受理）
- ▼通学路安全確保に関する請願（令和3年6月10日受理）
- ▼港区赤坂7丁目計画に関する請願（令和3年9月10日受理）
- ▼区有施設へのEV充電設備設置を求める請願（令和3年9月10日受理）
- ▼庁有車への電気自動車（EV）導入を求める請願（令和3年11月26日受理）
- ▼港区児童相談所に関する請願（令和4年2月18日受理）



請願書の書き方 皆さんの声を区政に！

港区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願として受け付けています。特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

書き方

- ① 請願は、日本語で書いてください。なお、作成に当たっては、改ざんを防止する目的から、鉛筆や、いわゆる「消せるボールペン」での記入はご遠慮ください。
- ② あて先は「港区議会議長」としてください。
- ③ 請願者の住所、氏名（署名又は記名押印）、電話番号を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定めて署名簿を添付してください。
- ④ 請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ⑤ 請願理由は趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。提出前に、区議会事務局に請願書の書き方・提出方法などをご相談ください。

【提出・問い合わせ】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

(A4 判用紙・おもて)

(A4 判用紙・うら又は2枚目)

<p>〇〇〇に関する請願</p> <p>港区議会議長 〇〇 〇〇 様</p> <p style="text-align: right;">提出年月日</p> <p>請願者 住 所 氏 名 (署名又は記名押印) 電話番号</p> <p>請願の趣旨(簡潔に) 〇〇を〇〇〇してほしい。</p>	<p>請願理由</p> <p>請願の趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。</p>
--	---

令和3年の議会活動 (令和3年1月1日～12月31日)

定例会・臨時会の開会状況

会議名	会期	延日数	本会議日数
第1回定例会	2月17日～3月16日	28日	5日
第2回定例会	6月9日～6月18日	10日	3日
第3回定例会	9月9日～10月7日	29日	3日
第4回定例会	11月25日～12月3日	9日	3日
第1回臨時会	12月27日	1日	1日
計		77日	15日

請願の委員会別審査結果 (件)

委員会名	区分	採択	不採択	取下げ	審査中	継統	計
総務常任委員会		1			2		3
保健福祉常任委員会			2				2
建設常任委員会			1		2		3
区民文教常任委員会		9		1	6		16
交通・環境等対策特別委員会		1			4		5
議会運営委員会							0
計		11	3	1	14		29

委員会の開会状況

委員会名		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
常任委員会	総務		2	3	2	0	1	5	1	0	2	2	2	3	23
	保健福祉		3	3	3	1	0	3	1	0	4	2	2	4	26
	建設		2	2	2	0	1	3	2	0	5	1	3	2	23
	区民文教		1	4	2	1	0	5	1	0	3	2	3	3	25
	小計		8	12	9	2	2	16	5	0	14	7	10	12	97
特別委員会	交通・環境等対策		0	1	2	0	1	2	1	0	1	2	0	2	12
	行財政等対策		0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	0	1	6
	まちづくり・子育て・高齢者等対策		0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	5
	エレベーター等安全対策・ 新型コロナウイルス感染症対策		0	0	2	0	1	1	1	0	1	1	1	1	9
	東京オリンピック・パラリンピック対策		0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	2	9
	令和3年度予算			1	9										10
	令和2年度決算										8	2			10
小計		0	3	17	0	3	6	3	0	11	8	3	7	61	
議会運営委員会		0	4	2	0	0	4	0	1	2	1	3	3	20	
合計		8	19	28	2	5	26	8	1	27	16	16	22	178	

議案・請願等の議決等件数

(件)

種類別		会議名	第1回 定例会 (2月)	第2回 定例会 (6月)	第3回 定例会 (9月)	第4回 定例会 (11月)	第1回 臨時会 (12月)	計	
区	条例の制定改廃（地方自治法第96条第1項第1号）		15	8	6	9		38	
	予算（地方自治法第96条第1項第2号）		9	3	3	6	1	22	
	決算（地方自治法第96条第1項第3号）				4			4	
	契約の承認（地方自治法第96条第1項第5号）			4	2			6	
	包括外部監査契約の承認（地方自治法第252条の36第2項）							0	
	土地の交換（地方自治法第96条第1項第6号）							0	
	建物の購入（地方自治法第96条第1項第8号）							0	
	土地の購入（地方自治法第96条第1項第8号）							0	
	物品の購入（地方自治法第96条第1項第8号）			1	3	4		8	
	建物の売払い（地方自治法第96条第1項第8号）							0	
	長	訴えの提起・和解（地方自治法第96条第1項第12号）				1			1
		損害賠償額の決定（地方自治法第96条第1項第13号）							0
	提	指定管理者の指定について				20	1		21
		特別区道路線の認定・廃止等							0
		人事の同意・推薦	2		1				3
	出	町の区域の新設・変更							0
		区長報告	専決処分の承認（地方自治法第179条）		2			1	3
			専決処分の承認（地方自治法第180条）	1	2			1	4
			その他		1	3			4
	港区有道路の廃止							0	
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議							0		
児童自立支援施設に係る事務の委託に関する協議							0		
特別区人事及び厚生事務組合理規約の変更に関する協議					1		1		
小 計			27	21	43	21	3	115	
議 員 提 出	条例等			1				1	
	意見書・要望書・決議	3	1	1	1			6	
	調査案件							0	
	その他			1				1	
小 計			3	3	1	1	0	8	
そ の 他	選挙			2				2	
	常任委員会委員の選任・辞任			4				4	
	議会運営委員会委員の選任・辞任			1				1	
	特別委員会の設置	1		1				2	
	特別委員会委員の選任・辞任	1	5	1				7	
	常任委員会委員の所属変更							0	
	その他							0	
小 計			2	12	2	0	0	16	
請 願	採択		4	3	2	2		11	
	不採択				2	1		3	
	取下げ	1						1	
	審議未了							0	
小 計			5	3	4	3	0	15	
合 計			37	39	50	25	3	154	

お見舞い

この間、世界各地において大規模な自然災害が発生しています。港区議会は、区内に所在し、様々な事業にご協力いただいている各大使館へ心からのお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。

❖ ブラジル連邦共和国では、令和4年2月15日に発生した豪雨により、洪水や土砂崩れなどの甚大な被害を受けました。4月13日に議長及び区長が駐日ブラジル連邦共和国大使館を訪問し、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。また、後日、お見舞金をお送りしました。

武井雅昭 港区長 (左)、エドゥアルド・パエス・サボイア大使 (中央)、清原和幸 前港区議会議長 (右)



❖ マダガスカル共和国では、令和4年2月23日に上陸したサイクロンにより、洪水や土砂崩れなどの甚大な被害を受けました。5月11日に議長及び区長が駐日マダガスカル共和国大使館を訪問し、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。また、後日、お見舞金をお送りしました。

ランジャザフィ・ツイラヴ・マエリゾ臨時代理大使 (左)、清原和幸 前港区議会議長 (右)



区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか？

次回11月発行予定の「区議会だより」の表紙を飾る写真(デジタルデータ)を募集します。

写真のテーマ 私が好きな港区の風景
(発行月(11月)の季節にあった風景)

応募規定 1 区内で撮影された横向き写真
2 5MB以上のJPEGデータ(未発表の写真)を外部記憶媒体(CD-ROM等)に書き込み、ご郵送ください(返却不可)。



応募方法 1 撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号、写真のコメント(17文字以内)を明記してください。
2 応募締切 令和4年10月11日
3 応募・問い合わせ
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
区議会事務局 議会広報担当
(電話 03-3578-2920)

その他 掲載作品の選考は「区議会だより編集委員会」で行います。

◆この「区議会だより」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ7駅、JR(浜松町・田町)2駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。

◆「区議会だより点字版」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。「声の区議会だより」はホームページにも掲載しています。

【申し込み・問い合わせ】

区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

あとなぎ

令和4年第3回定例会は9月上旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 なかまえ 由紀

小倉 りえこ

兵藤 ゆうこ

なかね 大

熊田 ちづ子